

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：緩下薬の適正使用に向けた緩下薬の使用状況および副作用発生状況の調査

・はじめに

本邦においてはこれまでの広い使用経験から、酸化マグネシウム（MgO）が最も広く使用されている緩下剤（お通じを良くするお薬）であり、今後も広く使用されると考えられます。一方で、MgOの服用ができない、もしくは効果不十分の場合は、近年承認を受けたラクツロースやポリエチレングリコールなどが使用可能となっています。

本研究では、実際に緩下薬を使用されている患者さんの使用状況ならびに副作用発生状況を過去にさかのぼり調査することで、個々の患者さんにどの緩下薬を使用すればより安全に使用できるかを検討するとともに、各薬剤をより安全に使用するための方法を検討します。

こうした研究を行う際には、診断や治療の経過中に記録された病名、薬剤使用状況、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学部附属病院において緩下薬を使用した患者さんについて、他の使用薬剤、疾患の状況、過去に測定した検査値、年齢などの基本情報を診療情報録（カルテ）から抽出します。診療情報録から、薬剤の安全性・有効性を検証します。また、本研究は高崎健康福祉大学薬学部との共同研究であり、**個人情報を含まない**暗号化したデータについては高崎健康福祉大学で解析をいたします。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において2015年1月1日～2020年12月31日に緩下薬（お通じを良くするお薬）を処方された患者さんを対象とします。

対象者となることを希望されない方は、下記の【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】まで2021年9月30日までにご連絡下さい。対象者ご自身で判断が難しい場合は対象者の第二親等以内の方からのご連絡もお受けいたします。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2026 年 3 月 31 日までです。

・研究に用いる情報の項目

年齢などの基本情報、病気の経過、治療歴、臨床検査値を研究のための情報として用います。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありません。研究成果は緩下薬の適正使用推進の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、群馬大学医学部附属病院薬剤部においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

研究のために集めた情報は、研究責任者(薬剤部長・山本康次郎)が責任をもって診療システム上で保管し、研究終了後は 10 年間保存し、保存期間が終了した後に廃棄いたします。解析用のデータや資料は個人情報を含まない形で取り扱い、上記と同様に保管し、10 年保管後はシュレッダーやデータ削除ソフトウェアで破棄します。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、薬剤部の経費および研究助成金によってまかなわれます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われたいのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、本院、薬剤部が主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究統括責任者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長

氏名：山本康次郎

連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長

氏名：荒木拓也

連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 助教
氏名：八島秀明
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任
氏名：関崎直人
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任
氏名：中村浩規
連絡先：027-220-8727

高崎健康福祉大学 研究責任者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部 教授
氏名：大林恭子
連絡先：027-352-1180

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

〒371-8511

群馬県前橋市昭和町三丁目 39 - 15

Tel：027-220-8727

担当：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 助教 八島 秀明

責任者：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 教授 山本 康次郎

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

1. 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその

方法

他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

2. 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続(手数料の額も含まれます。)
3. 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
4. 研究対象者から提供された情報の利用に関する通知
 - 情報の利用目的および利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)
 - 利用または提供する試料・情報の項目
 - 利用する者の範囲
 - 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法